高松市議会議員 無所属 市民派
太田あゆみ 議会・市政報告ニュースレター

2020年7月発行

あゆみのあゆみ

No War No Nukes

第26歩

編集・発行：太田あゆみ
〒760－0068 高松市松島町2丁目4－12
087-862-7227 080-6398-4607 mm_ayumitai@outlook.jp

今こそ問われる 議員の姿勢

コロナ危機のなか、議員の役割は?!

「あゆみのあゆみ」を手に取っていただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、わたしたちの生活に大きな変化をもたらしました。学校が休みになり、仕事や会議はオンライン。飲食店や観光業だけにとどまらず、市民への経済的な打撃は計り知れません。

「外出自粛」の中で病院へ行くことを我慢して体調を崩してしまった方、遠方の親御さんの介護に行けないという声も多く寄せられました。

これからわたしたちは、ウイルスを正しく恐れ、理解・共存し、生活を続けていかなくてはなりません。

そして、この一連のコロナ禍においては、給付金の対応の遅れや他自治体との経済対策の差など、市政に対する不信感が募った方も多いのではないでしょうか。

わたしたち議員の役割は行政を監視し、税金の使い道を決め、きちんと使われているかの点検をおこなうことです。

今の高松市議会は本当に「議会」の役割を果たしているのでしょうか。今こそ、議会・議員の姿勢が問われていると思います。

★新型コロナウイルスによる生活不安など、どうぞ遠慮なくご相談ください。

＼あきれた！／「我々議員にも生活がある」

新型コロナウイルス感染症に対する経済対策には、多額の財源が必要です。国からのお金（特別定額給付金など）があるとはいえ、高松市独自でも財源確保が必要です。

高松市議会では、議員報酬の削減をめぐってすったもんだが続きました。

わたしたち市民派改革ネットは

議員報酬　２割カット×９カ月
政務活動費　年間で半額カット
費用弁償　全額カット
視察費（委員会視察、会派視察、海外視察）　全額カット

で約１億円の財源を生み出すよう議長に申し入れました。

ところが、自民党議員会からは「報酬の１割カットが限界」「政務活動費は勘弁」の声。費用弁償や視察費には触れず。

結局、

議員報酬　１割カット×６カ月
政務活動費　年間で２割カット

で条例改正がおこなわれました。生み出せる財源は約2,400万円。

審議された議会運営委員会（２人以下の会派は入れない）では「我々議員にも生活があるから…」と、減額を渋る驚きの発言。わたしたち議員が一番に考えなければならないのは市民の生活です。あきれて開いた口がふさがりませんでした。

今後の経済情勢や第２波、第３波の到来を見極め、さらに財政出動が必要な時は、再度全議員で協議すべきであると強く訴えました。

仕事放棄?!「一般質問はしません」

高松市議会では、年に４回の定例会で、議員は「一般質問」をおこなうことができます。質問をおこなうことで、まちの課題や市民のみなさんの「困りごと」を明らかにし、自治体の政策・制度の問題点を指摘することで、改善したり新たな政策を提案したり、また不要なものを廃止させます。

しかし、６月定例会では自民党・公明党・市民フォーラム21・同志会の４会派は、「新型コロナの関係で職員は忙しい。議員も協力しないといけないので、質問をしないことで協力していく必要がある」として、議員個人の一般質問はおこなわず、会派でひとりだけがおこなう代表質問のみとすることを決定しました。

市の課題は新型コロナだけではありませんし、コロナ危機だからこそ起きている問題（２面で詳しく、わたしは通常どおり一般質問をしました）もあるので、積極的に一般質問をおこなうべきです。この「一般質問をしない」という決定に多数会派の誰からも異議が出ない、高松市議会の「横並びこそ美学」のような考え方は改めるべきだと思います。

帰省できない、バイト雇止め、オンライン授業…困窮大学生を市のアルバイトに採用！

実現しました

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、アルバイト先の休業や、親の収入減により大学生の生活が困窮しています。やむなく退学を検討する学生が2割に及ぶという調査もあります。

また、５月にオンラインで開催された大学生との意見交換会でも、「アルバイトに行けず困っている」「実家に帰りたいけど帰れない」という声を多く聞きました。

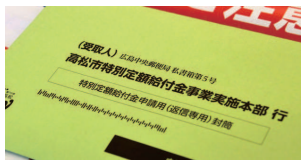
一般質問では、遅れている特別定額給付金の作業に大学生をアルバイトとして採用することを提案し、高松市としては、国勢調査や学童保育ほか10業務で20人ほどの大学生アルバイトの雇用を決めました！

困っている大学生にこの情報を届け、繋げて欲しいです。

検証！特別定額給付金

４月20日、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が閣議決定され、迅速かつ的確に家計への支援を行うため特別定額給付金事業が実施されることになりました。

高松市ではオンライン申請を導入していましたが、申請に必要となるマイナンバーカードを発行するために窓口が混雑するという現象も…。さらにオンラインでの申請とはいえ、職員がひとつひとつ書類を確認していくので非常に手間がかかり、全国でも最速でオンライン申請を打ち切りました。



紙の申請書が届くと、今度は送付先が広島県になっていて、「詐欺ではないのか？」との問い合わせが殺到…。委託先の事務センターが広島県にあるため、とはいえ不安になります。

さらに、高松市には現在約５千人の外国人が居住していますが、送られてきた書類は書き方の例もなく、漢字にふり仮名もありません。６月になってようやく総務省が出している多言語でのチラシを高松市のHPに掲載しましたが、遅すぎます。

視覚障害者の方も、点字での申請ができないため、書類の判別が非常に難しい状態です。民間事業者に依頼して申請書の記入方法を助言しているそうですが「誰ひとり取り残さない給付」が本当に実現できるのか、疑問です。

今回の特別定額給付金は世帯単位での給付だったため、個人に渡らないケースも多くあるようです（世帯主である夫が妻の給付金を自分で使い込む、等）。本来であれば個人給付が望ましい形だったと思います。

高齢者福祉タクシー助成券は郵送申請でもＯＫに！

実現しました

障害者の自立と社会参加を進めるため、高松市では「障害者福祉タクシー助成券」を、また65歳以上の高齢者には「高齢者福祉タクシー助成券」を交付しています。

５月ごろ、障害当事者の方から「市役所に申請に行かないといけないが、感染リスクが高いので怖い」とのお話を伺いました。調べてみると、HPに「郵送申請できます」の文字。普段インターネットを使わない方にその情報はまったく届いていませんでした。

「高齢者…」の方は今も窓口での申請が続いていることから、こちらも郵送申請を可能にするよう訴えました。結果、郵送での手続きの実施に向けて準備を進めていくとのことです！

ひとり親世帯のニーズ調査実現ならず…

４月30日、ひとり親当事者の地方議員12名が、新型コロナウイルスの影響を受けやすい、ひとり親の支援の充実を緊急に行う必要があることから、「ひとり親家庭支援のための地方議員ネットワーク」を立ち上げ、わたしもネットワークの一員として実態調査に参加しました。

さらに、認定NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」のアンケートでも収入源や臨時休校に伴う光熱水費の増など、厳しい生活実態が明らかになりました。

高松市としても、ひとり親世帯にアンケート調査をおこない、必要な支援につなげることが重要という提案をしましたが、アンケート調査はしない、相談窓口の案内にとどまってしまいました。

受け身で相談を待つのではなく、困っていることがないかしっかりと声を聞くべきだと思います。

情報発信は今後の大きな課題

コロナ禍であきらかになったのは、高松市の情報を出すスピードの遅さ、量の少なさ、わかりづらさ。

市民の方に伺うと、「HPを積極的に見ることはない」「他市の市長のTwitterをフォローしている」と情報に関しては不満の声ばかり。また、鬼無保育園の保護者の方からは報道で初めて知ることが多かった、という落胆も。

新型コロナウイルス感染症に限らず、今後、高松市として市民にどのように情報を届けていくかは大きな課題になります。あらゆる媒体の連携と活用、わかりやすい広報が求められます。

補正予算

観光業界が求めてる支援ってコレジャナイ…

補正予算では新型コロナウイルス感染症対策の予算が多くありましたが、「？」と感じたのが「観光客受入環境整備事業費」**500万円**。

これは「SNSを活用した高松魅力発信キャンペーン（写真投稿コンテスト）」を実施するための経費ですが、すでに高松市では「#upTAK」というSNSを活用した魅力発信の取組をおこなっています。

事業費の予算配分やコンテストの仕組みなども、「民間業者の提案による」とし、本市がどのような事業を想定しているのか明らかにされませんでした。さらに、本事業の検証をどのように行うのかという問いに対しては、「直接、検証することは難しい」と答えています。

予算のほとんどは景品代にあてられるそうですが、税金を1円たりともムダに使えない今の状況で、観光業界が真に必要としている支援とのズレを感じずにはいれません。

観光業界に対するほかの経済対策に予算を使うべきとして、反対しました。

丸亀町商店街再開発事業費
4億8,836万4,000円
前号でも触れた通り、徒歩や自転車、公共交通機関の優先順位を高めるまちづくりを目指すなかで、大規模駐車場の整備は不要であると考え予算には反対しました。

意見書

ソーシャルディスタンスが保てない！ 今こそ少人数学級の実現を！

国が求める「新しい生活様式」のもと、教職員は日に何度も消毒、換気、子ども同士の接触に気を使いながら過ごしています。

「これ以上もう限界」との声もあります。また、６月に学校訪問をおこなった大西市長もTwitterで少人数学級の必要性について触れています。

高松市は市の独自予算で小学校高学年においても少人数学級編成の実施に努めていますが、国の予算では小学校２年生までしか少人数学級（35人以下）が実現しておらず、自治体間でのばらつきがあります。今こそ、国の責任で少人数学級の実現を目指すべきであると考え、意見書を提出しました。

オンライン申請の低調を理由にマイナンバーと口座とのひもづけ、やめて！

特別定額給付金の作業が迅速に進まなかったのはマイナンバーと口座情報の連携ができていなかったから、としてコロナ禍のどさくさに紛れて国はマイナンバーと口座情報をひもづけしようとしています。

マイナンバーカードは５月末時点でも、８割の人が申請していません。それはマイナンバー制度に疑問・不安を抱いているからです。

マイナンバーと口座情報や他の個人情報をひもづけていくことは、情報漏洩の危険性を更に高めていくことになります。

また、義務化することで、ますますマイナンバー制度に対する国民の不安は募るばかりです。

さまざまな困難を抱える女性を支援する法律の制定を

さまざまな困難を抱えた女性への支援を国は「婦人保護事業」としておこなってきました。その事業の根拠となるのは「売春防止法」（1956年制定）です。

DV被害者、人身取引被害者、ストーカー被害者が支援の対象に加えられてきましたが、法の抜本的改正はおこなわれていません。性暴力、貧困、虐待、居場所の喪失を必要としている女性や未成年への必要な支援が届けられず制度の狭間に取り残されている人が多く存在しています。

お笑い芸人の岡村隆史氏が「コロナが終わったら、短期間でお金を稼がないと苦しい、かわいい子が風俗で働く。面白いことがある」とラジオで発言。女性の困窮状態を想像し、性の商品化を歓迎し、性を仕方なく売らなければならない女性のことを嬉しそうに予測しましたが、本来であれば法の下での支援が必要な女性たちです。

実効性のある「女性自立支援法（仮称）」の制定を求めます。

意見書の賛否状況はこちら

	自民党	公明党	フォーラム	同志会	共産党	ネット	無所属
少人数学級	×	×	○	×	○	○	×
マイナンバー	×	×	△※	×	○	○	×
女性自立支援法	×	○	○	×	○	○	×

※市民フォーラム21は会派内で賛否が分かれました。
賛成：吉峰議員、造田議員、反対：大西議員、中西議員、富野議員

これらの意見書はすべて否決でした。
事前に他の会派に参考資料を配布したり、賛同をお願いできるように働きかけましたが、実らず…。
唯一、市民フォーラム21が「女性自立支援法（仮称）の制定を求める意見書」の趣旨に賛同し、共同提出ができました。
少しずつでも議会を動かしていきます！

新議長への申し入れ。
1年でどれだけ議会改革が進むのか…

＼＼ 議会改革に関する申し入れをおこないました ／／

1．民主的な議会をめざす
2．一般質問の制限時間短縮を撤廃する
3．正副議長は密室で決めず市民への説明責任を果たす
4．議選監査委員の廃止及び監査制度の充実強化に向けた議論を
5．議会への市民参加を進める
6．開かれた議会をめざすために情報公開を進める
7．議会図書室を「使える」図書室に
8．市民感覚から大きくずれた不必要な支出をやめる
9．コロナ対策として「オンライン会議」の実施を

おしらせ

みんなとあゆみのおしゃべり会

議会のこと、普段の生活のことなど、なんでも気軽にお話しする会です。

9月6日（日）14:00～16:00　　会場：太田あゆみ政策事務所

高松市議会　9月定例会

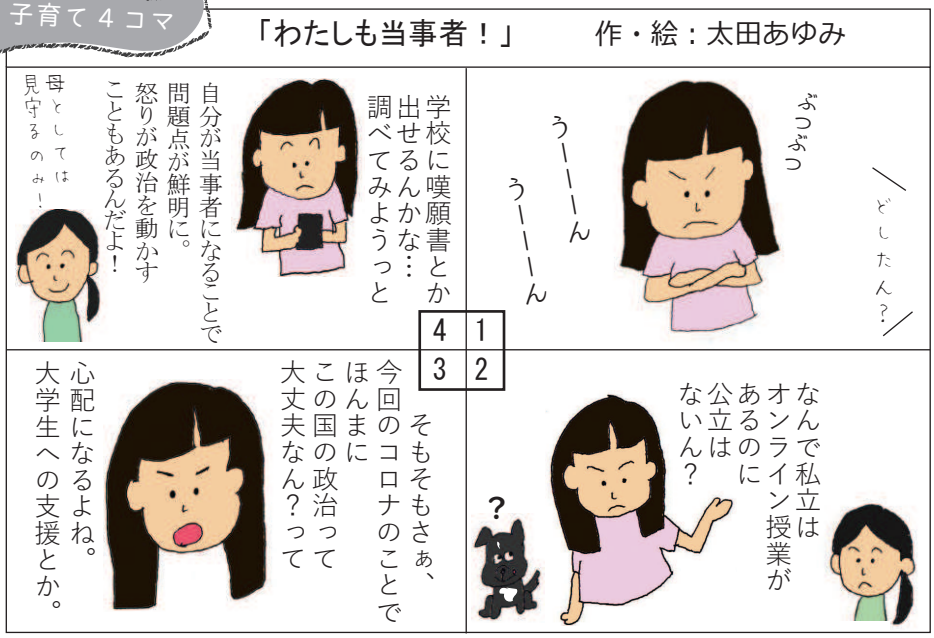
9月7日（月）～24日（木）予定　　ぜひ傍聴に足をお運びください

市民派改革ネット第21回議会報告会

夜の部　9月30日（水）18:30～　瓦町FLAG8階市民交流スペース会議室
昼の部　10月4日（日）13:30～　生涯学習センターまなびCAN 視聴覚室

子育て4コマ

「わたしも当事者！」　　作・絵：太田あゆみ



活動報告　4~6月

【4月】
1日 市民派改革ネット議会報告会（夜の部）／5日 市民派改革ネット議会報告会（昼の部）／13日 自治体議員による気候非常事態・共同宣言の会 呼びかけ人会議★／20日 市民連合朝街宣／27日 議会運営委員会（傍聴）／29日 自治体議員による気候非常事態・共同宣言の会 政策チーム会議★／30日 ひとり親家庭支援のための地方議員ネットワーク立ち上げ会議★

【5月】
6日 生活保護問題議員研修会★／10日 ひとり親家庭支援のための地方議員ネットワーク座談会★／10日 コロナ災害を乗り越える・いのちとくらしを守る緊急学習会★／11日 議会運営委員会（傍聴）／12日 長野県気候危機突破方針を読み解く★／13日 第33回地方×国政策研究会★／14～15日 高松市議会臨時会／19日 市民連合朝街宣／21日 ひとり親家庭支援のための地方議員ネットワーク会議★／23日 今こそ政治と若者をひとつに 議員と学生の交流会★／26日 議会改革に関する申し入れ／27日 議会運営委員会（傍聴）／31日 しんぐるまざーずふぉーらむ2019年度事業報告会★

【6月】
5日 議会運営委員会（傍聴）／6日 気候非常事態宣言の会 連続講座「自治体のエネルギー実態を調査する＆電力自由化の流れ」★／7日 みんなとあゆみのおしゃべり会／10～25日 高松市議会6月定例会／13日 緑の党連続セミナー★／27日 建物の断熱を学ぶ★／28日 緑の党連続セミナー★

※末尾に★のあるものはオンラインで開催しました

■ 報酬の使途を公開します

4月	
議員報酬	608,000円
源泉所得税	42,290円
県市民税	49,000円
国民年金	16,490円
議員活動費	182,145円
あゆみのあゆみ印刷代	122,145円
みんなと未来へあゆみ隊へ	30,000円
太田生活費・その他活動費	166,060円

5月	
議員報酬	608,000円
源泉所得税	42,290円
県市民税	49,000円
国民年金	16,490円
議員活動費	32,170円
みんなと未来へあゆみ隊へ	30,000円
太田生活費・その他活動費	438,050円

6月	
議員報酬	608,000円
源泉所得税	42,290円
県市民税	49,000円
国民年金	16,490円
議員活動費	20,399円
みんなと未来へあゆみ隊へ	30,000円
太田生活費・その他活動費	449,821円

●費用弁償（議会出席手当、1日あたり3,000円）は受け取りを拒否しています。
●6月期の期末手当：1,240,320円（うち源泉所得税 227,946円）

太田あゆみ（高松市議会議員2期目）

1980年生まれ、39歳
高松市立松島小学校、光洋中学校、
大手前高松高校、大谷大学卒業。
2015年 高松市議会議員選挙初当選
2019年 高松市議会議員選挙2期目当選

www.ayumirai.com/
@ayumi_step
@ota_ayumi.tkmt
www.facebook.com/ayumi.oota

■ご意見・ご感想はこちらから→ mm_ayumitai@outlook.jp

ひとりでも多くの市民のみなさまに議会や市政の情報をお届けするために、勝手ながらポスト投函させていただいています。
また、手配りで配布させていただいていますので、お手元にタイムリーにお届けできない場合があります。ご了承ください。

★ポスティングの際は、感染症対策をおこない（手袋、マスクの着用、定期的なアルコール消毒等）実施しています。